

# We change “安曇川”

一生懸命 ～学ぶ・動く・つながる～

## 臨時休業延長・・・一人ひとりの努力で困難に打ち克とう！

国の緊急事態宣言が全国に拡大され、高島市では4月11日(土)から5月6日(水)までの市内小中学校の臨時休業を5月31日(日)まで延長することとなりました。保護者の皆様には引き続きご苦勞をおかけすることとなりますが、この緊急事態を乗り越えていくために様々な学校の対応につきましてご理解とご協力をお願いいたします。

外出自粛やイベントの自粛などが相次ぐ中、中学生にとっても中体連各種大会の中止や行事の先送りなどで、先行きに不安を感じざるを得ない状況が続いています。登校再開の目途も立ちにくい中、家庭学習への集中力も途切れがちになるかもしれません。外出を自粛するあまりに体調不良になるということも予想されます。テレビやインターネットの話題は新型コロナウイルス感染症の不安を煽るようなものばかりで、明るい気持ちになることはあまりないのが現実です。

しかし、「止まない雨はない」のです。現在、世界各国が英知を集結し治療薬やワクチンの開発に力を注いでいます。そんな中、私たちにできることは、きちっとした予防対策を取り続けること、前号でもお話ししたように、自分が『すでに感染しているかもしれない。発症していないだけ。』という当事者意識をもち、外出を控え、人との接触を減らすなど感染を絶対に拡大させないという行動や生活を送ることです。強い気持ちの確かな行動でコロナという雨を止ませていきましょう。

そして、私たちに必要なこの当事者意識は、感染された方々やその濃厚接触者、医療従事者等に対する差別や偏見、無神経な発言を起こさない力となるはずで、大きな災害後に被災者に対する差別事象もその当事者意識の無さが引き起こすものだと思います。全世界で苦しんでいる人たちに対する差別などもってのほかです。私たちが真に人権を尊重できる人間になれるかが試されているのかもしれません。感染拡大傾向の今も、将来的に収束に向かいだしてから、自分さえ良ければという狭い考えは捨て、全ての人の幸せのために何ができるかを考え、行動していきましょう。

## 県教委作成 「学びの場」紹介

子どもの「学びの場」授業動画  
(You Tube チャンネル「滋賀県  
教育委員会幼小中教育課」)

[https://www.youtube.com/channel/UCMrqrkKEQ\\_7LvFYTBGWeJ9w](https://www.youtube.com/channel/UCMrqrkKEQ_7LvFYTBGWeJ9w)

自分の力で学習を進めたり復習をしたりするために県教育委員会が作られた動画です。動画を見ながら、自分の考えをノートに書いたり、問題を解いたりできるように。今後、コンテンツが増えていく予定のようなのでお知らせします。

また、学校で工夫した取組も展開していく予定です。学年通信等でもお知らせしますので、家庭学習等で利用してください。

## ラインズ e ライブラリアドバンス

高島市内小中学校では、教科書に沿ったドリル学習や自分で選択した教材に取り組むことができる「ラインズ e ライブラリアドバンス」の教材を活用した学習を計画しています。

好きなところをどんどん先に進んだり、苦手なところを何回も繰り返し学習したり、分からないところを解説で確認したりできます。

使用開始にあたっては、学校コードやパスワード等が必要になりますので、追って市教委から連絡があり次第お伝えします。



☆国の新型コロナウイルス感染症対策専門家会議の5月1日の提言では、感染の状況は地域において異なっているため、

1. 感染の状況が厳しい地域では、新規感染者数が一定水準まで低減するまでは、医療崩壊を防ぎ、市民の生命を守るため、引き続き、基本的には、「徹底した行動変容の要請」が必要となる。

2. 一方で、新規感染者数が限定的となり、対策の強度を一定程度緩められるようになった地域（以下「新規感染者数が限定的となった地域」という。）であっても、再度感染が拡大する可能性があり、長丁場に備え、感染拡大を予防する新しい生活様式に移行していく必要がある。

と指摘がありました。

同会議では、これまでも、感染拡大を食い止めるために徹底した「行動変容」の重要性を訴え、手洗いや身体的距離確保といった基本的な感染対策の実施、「3つの密」を徹底的に避けること、「人との接触を8割減らす10のポイント」などの提案を重ねて呼びかけてきました。

提言では、右のような「新しい生活様式」が提案されました。

今、新聞やTV報道を見ると気分が暗くなってしまうのは私だけではないでしょう。何か展望のもてるものはないかと、新型コロナウイルス感染症対策の様々な動画をYou Tube等で閲覧しました。

その中で、接触機会ではなく、「感染機会」を8割減らすということを提案されている動画を見ました。

- ・『高齢者等の徹底保護』
- ・『徹底的な換気』で空気

感染をなくす

- ・『飲食中の会話自粛』
- ・『粘膜接触営業の自粛』
- ・『手洗い/顔接触回避/マスク』で接触感染をなくす

というもので、右側の新しい生活様式との大きな違いはなく、今後状況が改善していても、私たちが意識すべきこととして有用なのではないかと感じたので紹介します。

## 「新しい生活様式」の実践例

### (1) 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）空ける。
- 遊びに行くなら屋内より屋外を選ぶ。
- 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
- 外出時、屋内にいるときや会話をするとき、症状がなくてもマスクを着用
- 家に帰ったらまず手や顔を洗う。できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
- 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う（手指消毒薬の使用も可）

※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

### 移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 帰省や旅行はひかえめに。出張はやむを得ない場合に。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。
- 地域の感染状況に注意する。

### (2) 日常生活を営む上での基本的な生活様式

- まめに手洗い・手指消毒
- 咳エチケットの徹底
- こまめに換気
- 身体的距離の確保
- 「3密」の回避（密集、密接、密閉）
- 毎朝で体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



### (3) 日常生活の各場面別の生活様式

#### 買い物

- 通販も利用
- 1人または少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- 計画をたてて素早く済ます
- サンプルなど展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶときは、前後にスペース

#### 娯楽、スポーツ等

- 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- 筋トレやヨガは自宅で動画を活用
- ジョギングは少人数で
- すれ違うときは距離をとるマナー
- 予約制を利用してゆったりと
- 狭い部屋での長居は無用
- 歌や応援は、十分な距離かオンライン

#### 公共交通機関の利用

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 徒歩や自転車利用も併用する

#### 食事

- 持ち帰りや出前、テリバーも
- 屋外空間で気持ちよく
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座ろう
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

#### 冠婚葬祭などの親族行事

- 多人数での会食は避けて
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

### (4)働き方の新しいスタイル

- テレワークやローテーション勤務
- 時差通勤でゆったりと
- オフィスはひろびろと
- 会議はオンライン
- 名刺交換はオンライン
- 対面での打合せは換気とマスク

※ 業種ごとの感染拡大予防ガイドラインは、関係団体が別途作成予定